

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2022年 7月 29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都渋谷区道玄坂1-21-1 渋谷ソラスタ19階	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 代表取締役社長 栗田 貴也
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	エコアクション21
適 用 範 囲	本社および一部店舗（段階的に認証）
導 入 年 月 日	2020年 3月 31日
認 証 番 号	認証・登録番号0013014
基 本 方 針	私たち、トリドールグループは、自然の恵みである「食」を扱う企業の責任として、下記の4つの行動基準のもと環境問題に積極的に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。 【行動基準】 1. 持続可能な社会へ 私たちは、事業活動が環境に与える影響を正しく理解し、社会の持続的発展に向
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	・2025年までに食品ロス排出量の売上原単位を130kg/百万円とする ・2025年までに再生利用等実施率を55%にする ・2025年までにCO2の排出量原単位を0.60t-CO2/百万円とする
目標を達成するための取組の内容	・食品ロスを含めた店舗で使用する食材についてPDCAを中心としたマネジメントを行う ・水光熱において、店舗従業員教育のPDCAを中心としたマネジメントを行う ・省エネ機器の積極的な導入を行う ・食品廃棄物の減容に繋がる生ごみ処理機やその他効果がある機器の導入を行う ・食品リサイクルへの切り替えを検討、実施する
目標を達成するための取組の進捗状況	・社内委員会として「環境委員会」を設置し、部門横断的に全社で環境に取り組む体制の構築が出来た ・環境負荷の軽減という切り口でのマニュアル整備が進み、一部店舗ではPDCAが回り始めた ・今年からはエコアクション導入をさらに進めていく予定
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当社はセントラルキッチンシステムを採用しておらず、出来立てを提供するため、各店舗で調理を行っている。そのため従業員ひとりひとりの省エネや節約という意識が温室効果ガス抑制のためには重要となってくる。2022年からはエコアクションの対象店舗をさらに拡大する予定であり、小さな積み重ねを行っていききたい
事業活動に係る法令の遵守の状況	遵守できている
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	【評価】2025年目標実現のためE A 2 1の拡大、浸透が期待される。早い段階で全店への導入を実現し、ただ実現するだけでなく、意識づけを行っていききたい。 【見直し】 今年度は以下2点を重点課題としたい ①：EMSの浸透定着を図り、着実に対象範囲の拡大を実現させること（継続）

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。